



# 南十字星

平成 30 年度 第 1 号

## 教育目標

- 1 気力・体力・活力に満ちた生徒の育成（体）
- 2 心情豊かで責任感の強い生徒（徳）
- 3 自ら学び、創造力に富む生徒（知）

4 月に陽南中学校に着任しました校長の宇賀神貴と申します。学校だよりを「南十字星」と名付け、不定期になりますが、発行してまいります。「南十字星」の「南」は「陽南」,「十字」は「学校と保護者の皆様の架け橋」,「星」は「生徒の輝く姿」をイメージしております。

さて、4 月 9 日（月）に着任式・始業式、4 月 10 日（火）に入学式が行われ、生徒数 850 名で、平成 30 年度がスタートいたしました。体育館に集合した生徒は、程よい緊張感の中で、これから始まる新しい学級での生活に思いを馳せているように見えました。

教職員は、年度末に 25 名が転退職し、本年度になり 21 名が転入しました。教職員が力を合わせ一丸となって、陽南中学校の充実・発展に努めてまいります。

保護者や地域の皆様には引き続き本校教育へのご理解とご支援を心からお願いいたします。

## ☆ 平成 30 年度 学校・学年・学級組織等になります。

1 学年主任 齋藤 尚之（理科）

副主任 1 組担任 軽部 裕子（技・家）

3 組担任 鈴木 克彦（数学）

5 組担任 田島 敦子（社会）

7 組担任 谷口 佳克（技・家）

副担任 大房 建太（数学）

副担任 入江 康友（数学）

2 組担任 橋本奈緒美（保体）

4 組担任 大野 裕隆（国語）

6 組担任 庄田 睦美（英語）

8 組担任 吉田 京平（社会）

副担任 玉置 芳恵（英語）

初任者指導 井上 圭一（数学）

2 学年主任 蕪木 将郎（数学）

副主任 1 組担任 石川 武（保体）

3 組担任 工藤 将範（英語）

5 組担任 木村 亮介（数学）

7 組担任 上野 浩孝（技・家）

副担任 高橋 庸子（美術）

副担任 池田 典子（音楽）

2 組担任 赤羽根佐知（国語）

4 組担任 小森ますみ（英語）

6 組担任 田中聖梨華（国語）

8 組担任 齊藤 誉（社会）

副担任 田村 裕夏（理科）

副担任 畑 香織（国語）

3 学年主任 亀田 英俊（英）

副主任 1 組担任 小高 正一（美術）

3 組担任 吉田 典子（理科）

5 組担任 櫻井 晶（国語）

7 組担任 会沢 綾子（保体）

副担任 綱川ひろ子（国語）

副担任 下里美由紀（理科）

副担任 鈴木 真琴（英語）

2 組担任 黒川 真一（音）

4 組担任 仁藤 寛之（保体）

6 組担任 植田 佳祐（社会）

8 組担任 大根田友広（社会）

副担任 寺田 綾子（英語）

副担任 湯浅弥栄子（数学）

校長 宇賀神 貴

主幹教諭・教務主任 大島 聡（数学）

学習指導主任 松本 克江（数学）

小中一貫教育主任 柳井 孝夫（理科）

教育相談主任 川尻 麗子（音楽）

養護助教諭 岡 包子

学校事務・主事 小森 舞

特別支援学級担任 磯貝 美穂 須田 修

副校長 戸部 義則

進路指導主事 岡 幸明（理科）

生徒指導主事 吉澤 篤（保体）

地域連携教員 桑川美登里（英語）

養護教諭 渡邊 りえ

学校事務・事務長 廣瀬 真美

学校栄養士・主査 棚原百合子

かがやきルーム 松本久美恵  
 A L T ルーク・ヨハ ジャクリーン・トンプソン  
 スクールカウンセラー 下牧千佳乃 メンタルサポーター 長嶋 和美  
 地域学校園司書 小原 彩子 学校業務嘱託員 渡邊 眞理

## 生徒数

	第1学年	第2学年	第3学年	合計
男子	139	135	158	432
女子	122	146	150	418
合計	261	281	308	850

## ☆ 平成 30 年度 学校経営の方針

本校では、人権尊重の精神を基盤として、確かな学力、豊かな人間性、健康や体力など、変化の激しい社会を生き抜くために必要となる「生きる力」を確実に身に付けさせる指導に力を入れてまいります。また、人間力の形成に向けて、全教育活動を通じて、「ほめて伸ばす指導（自己存在感・自己肯定感・自己有用感など自尊感情を育む指導）」の充実を図り、自信と誇りをもって生き生きと学校生活を送る生徒を育成してまいります。

そのことを具現化するために以下の11項目を学校経営の方針とし、進めてまいります。

- 1 学習指導要領や宇都宮市学校教育スタンダード等の趣旨をふまえるとともに、生徒の実態や学校・地域の特性を生かした特色ある教育課程の編成・実施に努める。
- 2 生徒の実態をふまえた個に応じた指導など、指導方法や指導体制の工夫・改善を図るとともに、家庭学習を充実させ、生徒一人ひとりの確かな学力の育成に努める。
- 3 共感的な生徒理解を基盤として、発達の段階に応じた生徒指導の充実を図り、望ましい人間関係や豊かな人間性・社会性の育成に努める。
- 4 特別の教科「道徳」（道徳科）を要として、道徳教育の一層の充実を図り、生徒一人ひとりの内面に根ざした道徳性の育成に努める。
- 5 健康管理や体力づくり、食に関する指導の充実を図るなど、生徒が将来にわたって健康的な生活を送るための基盤づくりに努める。
- 6 生徒の発達の段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育、進路指導を推進し、社会的・職業的な自立に向け必要となる能力・態度の育成に努める。
- 7 保護者や関係機関等との連携を十分に図り、生徒の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導や長期的な視点に立った特別支援教育の充実を図る。
- 8 陽南地区の児童生徒の豊かな心や確かな学力の育成を目指し、義務教育9年間を見通した系統的な指導や教職員の交流、研修会を実施するなど、小中一貫教育の充実を図る。
- 9 よき伝統や教職員の創意工夫を生かしたり、地域の教育資源を積極的に活用したりする教育活動を推進するなど、特色ある学校づくりに努める。
- 10 積極的な情報提供など家庭・地域社会との連携を一層深めるとともに、地域協議会の活動の活性化を通して地域に開かれた信頼される学校づくりに努める。
- 11 教職員が、生徒と十分かつ適切に向き合う時間を確保するとともに、ワークライフバランスの実現のため、業務の効率化や勤務時間の適正化を図る。

- ・「南十字星」をはじめ、各種便りや学校行事等の情報はホームページ「<http://www.ueis.ed.jp/school/yonan-j/>」にてご覧いただけます。
- ・ご感想、ご意見等は、E-mail「[yonan-j@ueis.ed.jp](mailto:yonan-j@ueis.ed.jp)」まで、お寄せください。